



大賞

KRP9号館 サイン計画

株式会社日建スペースデザイン (米澤研二・今井充彦)



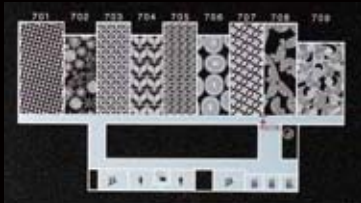
KRP9号館 サイン計画

KRP9号館は京都において起業の後、規模拡大期を迎えた企業をターゲットとした複合オフィスビルである。サインデザインは、入居する人々に対して、京都を基盤として働くことの満足感を高める仕掛けとなることが求められた。そこで、京都の気配を感じさせる伝統的な技術や意匠を踏襲しつつ、革新性を感じさせるデザインを目指した。



染物

京友禅の技法である引き染めを施した着物をガラスで挟み込み、サインの表示板とした。周囲の景色を反射しつつも、背景を柔らかに透過し、見る角度によって表情を変えていく、奥行きを感じさせるサイン。



文様

各オフィスにはそれぞれ異なる文様が与えられている。文様は屏に描かれ、視覚的な楽しみを与え、各々の個性を強調する。各階フロア案内にも、オフィスごとに対応した文様が描かれ、感覚的に導かれるフロア案内となっている。

文様は全て、型染染の伝統技法を用いて、自然物や風景だけでなく、心象や目に見えぬ対象物も表現する、伊砂文様のものを使用した。



風景

建物を貫くように施された壁面グラフィックは嵐山の竹林イメージを水墨画のように抽象化させて作成した。モチーフの竹は入居する企業の成長イメージとシンクロする。またこの水墨の竹林は小道をつくり各諸室へ導く機能を果たす。

